

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境		責任者	港営部 関連事業担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		連絡先	052-654-7836
事務事業名	名古屋港湾会館の管理・運営		連携先	
目的	対象(誰・何を)	港湾関係者、船員その他海事関係者を始めとした利用者	事業期間	平成18年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	文化及び教養の向上と福祉の増進を図ります。		
概要	定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。		根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港湾会館条例
活動内容	指定管理者に対して、定期的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っていきます。		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	30,191	30,191	30,915	30,432	事業費には指定管理料を計上しています。
人件費	千円	6,431	6,511	6,540	6,494	
合計	千円	35,748	36,622	37,455	36,608	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
定例会議・モニタリング回数(回) (単年度管理型)	目標	63	63	63		63	平成26年度から月間モニタリング1回、週間モニタリング1回に変更しました。	
	実績	63	58	59				
事業進捗状況(28年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
会議室の利用率(%) (単年度管理型)	目標	33.0	33.0	33.0		33.0	平成26年度から、目標値は、指定管理料を算出した時の利用率としました。 年間利用回数÷(年間営業日数×室数×3)※3は午前、午後、夜間の使用区分の数を示します。	
	実績	38.0	35.0	29.0				
事業進捗状況(28年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	モニタリング回数は、休日等により目標をやや下回りましたが、適宜必要な情報共有を行いました。会議室の利用率は、一部企業の会議の利用の減少等により利用率が低下し、目標を下回りました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	港湾関係者、船員その他海事関係者を始めとした利用者文化及び教養の向上と福祉の増進を図ることは重要であると考えます。また、一般の利用者にも開放しており、ニーズに応じています。						
	○							
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	定例会議・モニタリングの回数及び会議室の利用率は、目標値をやや下回りましたが、指定管理者に対し必要な指導・助言を行うことで、文化及び教養の向上と福祉の増進に貢献しております。						
	△							
効率性 最小のコストとなっているか?	○	施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています						

4 ACTION(取組)

課題	29年度以降の取組
利用率の向上に余地があると考えられることから、周知や営業等の取組を強化する必要があります。	モニタリング等を強化し、施設の良好な維持管理、高質な利用者サービスの提供及び営業に努めるよう、指定管理者に対し指導・助言を行います。